

PENGUINBOOTS

所在地 岐阜市日ノ出町1-20 ロイヤル劇場ビル2F ヨンマルニカイ
 営業時間 13:00-19:00(最終受付18:00)
 定休日 水・木曜日(臨時休業あり)
 TEL 080-7219-9748
 URL https://www.penguin-boots.com



体験1,500円(税込)~
 (製版サイズ等によって
 金額は異なります)



シルクスクリーン印刷を施した
 木製看板やTシャツ等。
 水洗いしても色落ちしない。

柳ヶ瀬商店街の旧長崎屋の向かいに位置するロイヤル40ビル。その2階にあるシェアショップスペース「ヨンマルニカイ」の一角にお店を構えるPENGUINBOOTS(ペンギンブーツ)。店主のすぎやまみこさんが各地から集めたこだわりのステーションナリィや自らデザイン・制作したオリジナルグッズを販売しています。昨年から「シルクスクリーン制作体験」を事業化し、多くの人につくる場を提供しています。新たな事業の展開と商店街での取り組みについてお伺いしました。

すぎやまさんは、高校でデザインを学び、印刷、雑誌デザイン、広告デザインの会社を経て、1999年にPENGUINBOOTSを夫でファッションデザイナーの松田 悟さんと設立しました。すぎやまさんの本業は、デザイン・イラストの制作です。書籍を中心に、広告などでマンガやイラストを描き、

いろんな人の「つくりたい」をお手伝い だれもがみんななクリエイター

PENGUINBOOTS
 イラストレーター すぎやま えみこさん

ほかに専門書や社内報、広告などの仕事をしています。「私の描いたイラストが役に立って、また仕事をお願いしたい、すぎやまさんに描いてもらいたい、と依頼をいただけると嬉しいですね」



すぎやまさんが手掛けた書籍デザイン

デザインの仕事は自宅でもできます。あえて柳ヶ瀬商店街に事務所を構えた理由は、これまでの縁とお客様との関わりを求めたからだといいます。

柳ヶ瀬商店街はおもしろい！

デザインの仕事は自宅でもできます。あえて柳ヶ瀬商店街に事務所を構えた理由は、これまでの縁とお客様との関わりを求めたからだといいます。お店の看板やのれんを刷りたい事業者さんなど、多様な用途に使えます。「イラスト制作が本業のため、シルクスクリーンは馴染みやすく、相性の良いワークショップでした。デザインのアドバイスをしたり、依頼を受けることもありです。『つくるって楽しい』をコンセプトに体験者を増やしたいです。自分で作ったものは愛着がわきますよ」

今年の5月と7月には、お店から徒歩3分の距離にある柳ヶ瀬商店街の無印良品とコラボし、期間中に無印良品の商品を購入すると、500円でワンポイントのシルクスクリーン印刷体験ができるというキャンペーンを実施し、好評を博しました。それがきっかけとなり、後日、自身で描いたものや好きなデザインをお店で刷っていただくという流れをつくらうとしています。

コロナ禍でマーケット「ヨンマルシェ」を新たに開催

相次ぐ緊急事態宣言や非常事態宣言の発令等により、各地で人が集うイベントが開催中止となりました。サンデービルディングマーケットも例外ではなく、厳しい運営状況が続いています。「このまま賑わいも出店者の販売機会もなくなってしまうの

「夫は柳ヶ瀬の近くで生まれ育ちました。高校生の頃は帰り道や休みの日に柳ヶ瀬で買い物したり映画を見たりして楽しんでいました。私も学生時代、帰り道に柳ヶ瀬のお店に立ち寄っていたので縁がありました。また、以前はシェアオフィスに居しており、時々お店だと思って尋ねて来る人がいました。その人たちの対応をしている時に『訪れた記念に何か買いたい物があったらいい気がする』と感じ、遊びに来たお客様に楽しんでほしいと思うようになりました。そして、6年前からサンデービルディングマーケット*に夫と出店するようになり、直接お客様と接する機会が増えました。商店街のおもしろい取り組みも増えたことから、2017年にヨンマルニカイに入居しました」

現在、ヨンマルニカイには、ほかにギャラリーとワークショップの2店



ロイヤル40ビル前で開催した「ヨンマルシェ」

は寂しい。柳ヶ瀬に遊びに来たくなるきっかけを作りたい」その思いから、サンデービルディングマーケットの規模を縮小したイベント「小さなマルシェ」を企画し、今年2月からロイヤル40ビルの周辺で不定期に開催していました。4月からは、名称を「ヨンマルシェ」に改め、毎月第1土曜日に開催。お菓子やアクセサリー、雑貨など、約10店舗が出店しています。

「規模が小さいからこそ、出店者とお客様との距離が近く、会話をしながら買い物をしていただけるのが楽しいです。今後も続けていきたいです」

みんながつくる場所にしたい

今後、柳ヶ瀬商店街は、岐阜高島屋南地区の再開発や金公園の再整備、



サンデービルディングマーケットで賑わう柳ヶ瀬商店街

舗が入居しており、お互いに仕事を紹介し合ったりしています。

*サンデービルディングマーケット
 毎月第3日曜日、柳ヶ瀬商店街で開催する手作り」とごだわりの詰まったライフスタイルマーケット。コロナ前は約5000人の来場者で賑わいました。

「シルクスクリーン印刷体験」を引き継ぎ発展させる

新型コロナウイルスの影響により、以前ヨンマルニカイのシェアショップで「シルクスクリーン」のワークショップを行っていた店舗が退店することとなり、その後を継いだ、というのがスタートです。シルクスクリーンとは孔版印刷の

周辺の相次ぐマンション建設によって、街の雰囲気や人の流れ、出店する店舗が変化していきます。そうした再開発の効果に期待が募ります。「これから柳ヶ瀬にはいろんな人やお店が集まると思います。商店街という特性を活かし、当店ですべて完結するのではなく、シルクスクリーン印刷に使うキャンバスや子ども服を近くの画材屋さんや無印良品さんで購入してもらい、それに好きな版を刷る。当店は在庫を抱えなくて済みますし、お客様の満足度は高くなる。そうしたお店の紹介ができるのも商店街の良さだと思います」

また、入居しているヨンマルニカイをもっと多くの人に知って欲しいといいます。「ものづくりやアートに関するショップが集まっており、柳ヶ瀬に来たら面白い物もできるし体験もできる。今後はシェアショップ間の連携、たとえば、お客様が作った商品の販売やギャラリーへの展示、ワークショップで制作したものにシルクスクリーンで付加価値をつけたいですね」

大人から子どもまで、いろんな人がつくる楽しさを実感できる場所にしたい。すぎやまさんは「伝えたい、形にしたい」という想いをデザインで支えます。